



横浜市立城郷小学校  
明治 33 年 6 月 創立

# 学校だより

めざす子ども像

令和 5 年 9 月 25 日  
10 月 号




ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右の QR コードからもご覧になれます◆

## 支えてくれる人がいる

校長 さんべい 三瓶 あつし 淳



例年 9 月から 10 月にかけては、朝から天気予報が気になります。運動会シーズンに入るからです。ひと昔前までは、秋雨前線の影響や台風の接近により学年で割り当てられた時間帯で校庭使用が可能かということが気になるポイントでした。しかし、近年は WBGT 計を基準とした熱中症対策として、校庭に出てよいか、運動はしてよいかを判断することが、多くあります。特に今年は猛暑続きだったこともあり、30 度の時は職員の会話に、「最高気温が 30 度って、今日は涼しいかもね。」と出るほどでした。この学校だよりが皆様のお手元に届く頃には、過去一番となる今年の暑さが収まり、爽やかな気候の下、運動・スポーツ日和となる日が多くなることを願っています。

ところで、先月の学校だより中で、今年の猛暑の中を『横浜から新大阪駅まで、徒歩で制覇』した職員の記事を載せました。「このスピード重視の世の中、よくぞやり切った！」と地域からの反響もありました。その職員とは全く比べものになりませんが、学生時代、少しでも帰省の旅費を浮かそうと『横浜から福島まで』250 cc のバイクにまたがり、国道 4 号線を使って帰省したことを思い出しました。やはり夏で、途中雨に降られてカッパを脱ぎ着するために停まる以外は、これといった休憩も取らずに 8 時間かけて実家に向かいました。体はバキバキに固まり、汗と埃にまみれた体を一刻も早く風呂に入ってほぐそうと玄関のドアを引くと・・・な、なんと開きません！そう親は留守だったのです！その時の衝撃、そして悲しみは忘れられない思い出となっています。それは、「お帰りなさい。」「よく（バイクで）帰ってきたね。」という言葉や出迎えてくれる親の姿を思い描いていたからでした。



スポーツ選手が「これまで支えてくれた方々のおかげで、このような結果を出すことができました。」と感謝を伝える場面をよく目にします。自分の決めた目標に向けて頑張るとき、自分一人では心が折れそうになることもあるでしょう。しかし、支えてくれている人たちの思いまで、しっかりと心で受け止めたときは、その人たちの喜ぶ笑顔を見たい、お礼を伝えたいという気持ちが沸き起こり、練習している時から自分のもっている以上の力が発揮され、さらなる極みまで到達することができるのではないかと思います。

運動・スポーツが得意な子どもたちにとっては、待ち焦がれた運動会がやってきます。得意を伸ばして、さらに自信に繋げて行ってほしいと思います。でも、ちょっと運動に対して苦手意識や恥ずかしいと感じている子どもたちは、周りの友達と比べず、新しいことに挑戦した自分を認めたり、自分の成長を見守っている人（家族）へ全力を出し切った後のきらきらの笑顔を見せたりすることができると思います。間違いなく子どもたち一人ひとりが主役なのですから・・・。